

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	広報なると・テレビ広報充実事業		担当部署	企画総務部 秘書広報課	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業期間	開始	昭和 ▼ 26年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なると			終期
(小項目)		情報の共有化			
施策	4	情報の共有化の推進			
基本事業	1	広報活動の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 全市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	紙面や動画を活用し、行政情報等をわかりやすく紹介するとともに、より多くの市民にご覧になっていただけるような広報紙及びテレビ広報を制作し、市政への関心や参画につなげる。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		広報モニター(20名)の肯定的評価	70	70	70	70	70	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	「広報なると」で市政の特集などを紹介するとともに、レイアウト、使用する文字をユニバーサルデザイン文字とするなど工夫し読みやすい紙面作りに取り組んだ。また、テレビ広報では市の重要施策の説明や市民の社会貢献活動、市長が自ら挑戦する市長チャレンジなどを紹介し、動画の特性を生かした番組を制作し放送するとともに、より最新の情報を提供するために、15日更新で放送を行うこととした。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
		指標名	24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	広報紙による市政の特集回数	8	10	10	10	10	回
	2	テレビ広報で市長の施策紹介回数	3	3	6	6	6	回
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	広報モニター(20名)の肯定的評価		69.5	75.25	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			107.5	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	9,567	10,783	11,558	11,558	11,558	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	621	665	621	621		621
		一般財源	8,946	10,118	10,937	10,937		10,937
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		13,034	13,034	13,034	13,034	13,034	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		22,601	23,817	24,592	24,592	24,592	千円	

【事務事業名：広報なると・テレビ広報充実事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	わかりやすい広報活動を実施するために、平成24年3月に策定した広報戦略プランならびにパブリシティマニュアルの推進を図るために、庁内の説明会等の開催を実施し、周知徹底を図っている。また、テレビ広報については課題であった放送間隔を従来の20日から15日に短縮したことで、放送回数が増加し、より多くの情報を提供できるよう努めている。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 情報の共有化の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	先進地の取り組みなどを研究した上で、新たな取り組みを研究し実施することにより、その取り組みに対して広報モニターから意見をいただき、フィードバックさせるとともに、市民にもわかりやすい広報について今後もさらに取り組んでいく必要がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 事業対象は適切である。		
<input type="checkbox"/>		⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	市政の特集として、各部署から取り上げてほしいとの要望が増えており、必要な紙面の確保が困難となってきていることから、増ページ、また、それに伴う人員増を含めた検討が課題となっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input checked="" type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	積極的な情報発信やわかりやすい広報活動に努めた結果、成果指標を上回ることができた。テレビ広報については、放送間隔(20日)が長いとの意見があったことから15日に短縮したが、さらに期間を短くし、より多くの必要な情報を適時に発信するためには、人員体制の整備が必要不可欠である。また、広報全般については、自治基本条例が施行され、市民との情報共有の重要性がさらに高まっており、今後もより効率的で、わかりやすく、見やすい広報活動に努める。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				